

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① **中学生が主導する地域防災訓練**

中学生3年生が避難所開設・運営、集団避難・誘導、炊き出し調理・配給、救急救護、情報収集、災害対策本部の6班に別れてそれぞれ活動し、小学6年生と中学1・2年生、保護者・地域住民が避難者役として参加し、地域防災訓練を中学生が行った。全校生徒約290人と小学6年生約90人、住民約250人が参加している。本校では昨年度に、地域の町内会や消防団、民生委員など18の地域組織からなる学校・地域支援組織「チームMY・SP」を設立し、3年生が活動する6つ班を分担支援している。

② **津波被災農家に弟子入り体験学習**

この体験学習は大震災の翌年の平成24年度から実施しており、本校生徒が、津波の塩害で稲作ができず、綿花栽培を行っている仙台市沿岸部の津波被災農家で、夏に畑の除草作業、秋に綿花収穫の奉仕作業を行っている。また、綿花の収穫後には、本校生徒が全員で仙台市の復興ソングの合唱を披露したり、吹奏楽部が演奏をしたりするなど、被災農家との交流も行っている。参加生徒は平成24年度が1年生約100人、平成25年度が1・2年生約200人、平成26年度が全校生徒290人となり、年々支援を拡充している。

③ **校内炊き出し調理コンテスト**

本校1年生が学級の生活班ごとに炊き出しのレシピを考え、非常用米炊き袋を使用することや食材費の限度を設けるなどの条件のもとで、炊き出し調理するコンテストを平成24年度から実施している。審査員にはPTA役員が5名が担当し、最優秀、優秀、優良の各賞を審査基準に基づき授与する。 など

④ **仙台復興シンボルイベント「仙台七夕まつり」清掃奉仕活動**

本校生徒が希望してこの活動に参加し、“仙台復興は自分たちの手で”をスローガンに掲げ、平成24年度から実施している。毎年、約70人の生徒が希望参加し、真夏日が続く七夕祭り会場でゴミの回収などの清掃活動を行う。県内外から200万人の観光客が訪れ、祭り会場に設置したゴミ箱はすぐに満杯になる中、生徒たちは綺麗な七夕飾りをゴミのない綺麗な会場にて楽しんでもらおうと、真夏日に汗だくになりながら懸命に活動している。

⑤ **防災・減災に関するテーマ学習とポスターセッション**

本校3年生は、防災・減災に関する10テーマの課題学習に挑んでいる。約10人程度の班に分かれ、それぞれ与えられたテーマについて調べたり、聞き取り調査したりするなど多様な学習方法で課題解決に挑戦している。この学習の成果はポスターセッションにて、1・2年の下級生や小学6年生、そして保護者や住民に発表する。視聴者が幅広い年代にわたるため、3年生はポスターセッション形式だけでなく、寸劇を加えたり、実演をしたりするなど、どの年代にも興味関心を抱いてもらうことや楽しんでもらう創意工夫をして、学習成果を分かりやすく発表している。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）